

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

目次

2

選択は個人の自由
(勝田副支部長)

4

平成 27 年度
レイカ大津の集い報告

6

生涯学習フェスティバルに参加
わかやま国体ボランティア活動 本部主催 G ゴルフ大会
本部主催地域活動事例発表会

10

新入会員投稿

21

会員投稿

エッセイ・俳句・川柳

わが町の歴史(大津駅前)

14

部会だより

健康部・文化部

研修部・地域活動部

28

会員動向・編集後記

感謝状

滋賀県レイカディア大学同窓会大津支部 様

あなたは、紀の国わかやま国体ボート競技会の開催にあたり、温かいおもてなしの心をもって、競技会運営補助に多大なるご尽力を賜りました。よってここに感謝状を贈り、紀の国わかやま国体ボート競技事務所職員一同、心より感謝の意を表します。

平成 27 年 11 月 17 日

紀の国わかやま国体ボート競技事務所



わかやま国体ボート競技会
ボランティア活動感謝状

主 な 行 事

➤ 新年会のご案内

日 時：2月1日(月) 12時～14時30分

場 所：唐橋 懐石料理 「あみ定」

* 詳しくは3頁参照

➤ レイカディア大学必修講座聴講

日 時：2月5日(金) 10時～12時

場 所：レイカディア大学草津校 大教室

* 人数制限有り、事前申込み。詳しくは10頁参照

「選択は個人の自由」

副支部長(瀬田地域担当) 勝田 幸三 (29 期 文芸・瀬田月輪)

先日、60 年来の友人から「97 歳現役医師が悟った体の整え方」(田中旨夫) という本を借りて軽く読み流してみました。

私は元来、健康や体力増強など無関心で、どちらかといえば気の向くままに生きてきましたので、この類の本などは読んだことがなかったのですが、その友人曰くは「家族や周りのものに迷惑をかけないために自分の健康を維持する」ことを説かれ、読んでみました。既に読まれた方もおられると思いますが、本のコンテンツを紹介しますので、内容は想像するか、買って読んで見てください。著者は沖縄の現役医師で、毎日約 50 人の患者を診察している、72 年の医師歴の方です。あと 10 年は患者のために仕事を続けたいと思っているそうです。

内容は 4 章からなっています。

第 1 章 老い知らずになる体の整え方 ① 健康のコツはシンプルな習慣にある ② 規則正しい生活は長寿の秘訣 ③ 毎日 40 分の昼寝をする ④ 太陽の光を 1 日 15 分浴びる ⑤ 水素水を 1 日に 2 リットル飲む ⑥ 毎日 30 分の散歩をして、足腰を鍛える ⑦ 枕を使わないで寝る ⑧ 毎朝 5 分、足腰の体操をする ⑨ 運動でもなんでも「ほどほど」がいい	第 3 章 「やめる」だけで体が若返る習慣 ⑩ 「体に悪い習慣」を「良い習慣」に変える ⑪ 長寿の人には共通するものがある ⑫ 薬は必要最小限度しか飲まない ⑬ 糖質制限はしないほうが良い ⑭ 塩分を減らして薄味に慣れる ⑮ 加工食品をなるべく口にしない ⑯ トランス脂肪酸をとらない
第 2 章 なぜ病気のほうから逃げていくのか ⑩ 毎日 15 種類以上の野菜をとる ⑪ 粗食をしない ⑫ 甘いものは一切食べない ⑬ ヨーグルト、チーズ、など発酵食品 ⑭ カルシウムを意識してとる ⑮ オリーブオイルとココナツオイルをとる ⑯ 週 1 回 薬膳スープを飲む ⑰ 西洋医学に鍼灸を組み合わせた治療 ⑱ 病気で死にかかった体験を仕事に生かす ⑲ 89 歳で末期ガンが見つかるも克服	第 4 章 常に上機嫌でいられる心の整え方 ⑳ ゆとりのある生活は命取りになる ㉑ 体の若さは気の持ち方で大きく変わる ㉒ ボケ防止には楽しいことをするのが一番 ㉓ 多少のストレスがある方が長生き出来る ㉔ 未知のことに挑戦する ㉕ 「あと 10 年は仕事をする」が口ぐせ ㉖ 自分の役割を意識する

72 年の医師歴で、毎日 50 人の患者の診療にあたり、自らも生死をさまよう経験をした中で得た知識は大いに参考にしたいとは思いますが、しかし田中医師もあとがきで「健康になることだけを究極の目的にはせず、楽しくより良い人生を送ることが大切」とのべておられるように、「選択は個人の自由」というのが私の感想です。

第 11 回 新年会のご案内

新年会実行委員会

恒例となりました新年会を下記の要領で行いますので奮ってご参加下さい。

今回は風光明媚な瀬田の唐橋を眺めながらの懐石料理に堪能して頂きたくご案内いたします。

記

日 時 平成 28 年 2 月 1 日(月) 12 時 00 分～14 時 30 分
受付開始 11 時 30 分から

場 所 懐石料理 あみ定 (瀬田の唐橋の中之島)
住 所 〒520-0851 大津市唐橋町 23-1
T E L 077-537-1780
交 通 京阪唐橋前下車 徒歩 5 分
(JR 大津京で京阪皇子山に乗り換え唐橋前下車 5 分)
JR 石山駅下車 徒歩 15 分

送 迎 バ ス A) JR 大津京駅 11 時 00 分
B) JR 石山駅北口 11 時 30 分
参加される方には詳細を後日連絡致します

会 費 5,000 円 (会費は受付にて徴収します)
座椅子での会食となります(飲み物付、女性は特典有り)

申込み締切り 平成 28 年 1 月 18 日(月)
申込み後、ご都合が悪くなった方は速やかに連絡ください
(連絡が遅くなりキャンセル出来ない時は会費を申し受けますので
ご注意をお願いします)

備 考 *申込み時に送迎バスの乗車場所をご連絡ください。
A) JR 大津京駅 B) JR 石山駅北口 C) 「あみ定」に直行
*自家用車のご来場はご遠慮ください

連絡先(申込先)

支部役員または下記宛先をお願いします

★比叡地区	荒木 博美	☎523-6030	和田 紀久子	☎579-4588
★中央地区	大塚 庸行	☎525-7338	住若 富子	☎525-7398
★石山地区	木本 修二	☎533-1714	植田 隆一	☎534-2251
★瀬田地区	松田 勝彦	☎545-3871	荒木 澄子	☎545-5284

「36 期生新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」 結果報告

実行委員長 安田 照美 (33 期 地文・皇子山)

爽やかな秋晴れの 10 月 15 日、恒例となりました「レイカディア大学同窓会大津支部 36 期新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」が生涯学習センターで開催されました。多数の皆様にご参集、ご協力頂き無事終える事ができました事、心より御礼申し上げます。

結果報告と今後の課題について取り纏めました。

1. 概 要

- 日時：10 月 15 日(木)13 時～16 時
- 会場：生涯学習センター大ホール
- 催物内容：①新入会員紹介 ②大津支部活動紹介
③部会及びサークル活動紹介 ④地域懇談会
⑤体験コーナー・似顔絵 ⑥地域対抗クイズ大会

部会活動：ディスコン(健康部)、まちなか応援・小学校応援他(地域活動部)

サークル体験：マジックサークル、パソコン同好会、川柳クラブ、絵手紙サークル(展示のみ)



36 期新入会員の方々

2. 参加者

- 合計 97 名。内、36 期新入会員 25 名中 14 名 56%、全支部会員 259 名中参加率 37%
- 前回との比較：参加者△26 名（既会員・一般△5 名、新会員△21 名）
新入会員数が昨年の 50 名から半減。歓迎会でありながら 36 期の出席者が少なく、また当日になってからの欠席者が 13 名とかなり多かった点などが要因と思われます。

3. アンケート集計・・・次頁の設問別グラフをご参照下さい。

- 回収率 80% (78 票) は前年度比 10%増で改善が見られました。途中退出者が減少し、最後まで残って頂いた方が多くおられました。途中退出者を減らす事が今年の目標の一つでした。
- 昨年の「皆で歌おう」は改善を求める意見があった事から今年は「地域対抗クイズ大会」を企画しました。スクリーン上の文字が黄色で読みにくかったとの意見が複数ありましたが、なかなか盛り上がり好評でした。
- その他、③の部会・サークル紹介で時間が長すぎるとの指摘が多くありました。

36 期生は出席者が少なかったとは言え、今回の催しを好意的に受け止めて頂けたようです。また、5 部会活動に参加したいと答えられた方が 80%と好結果でした。大津支部の活動について良く理解してもらい、積極的な参加に繋げる事が今年の歓迎会の最大の目標でしたので、まずは及第点とさせていただきます。今年の実省を踏まえ、次回はより一層楽しい集いになるよう改善・工夫を重ねて参りますので、皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



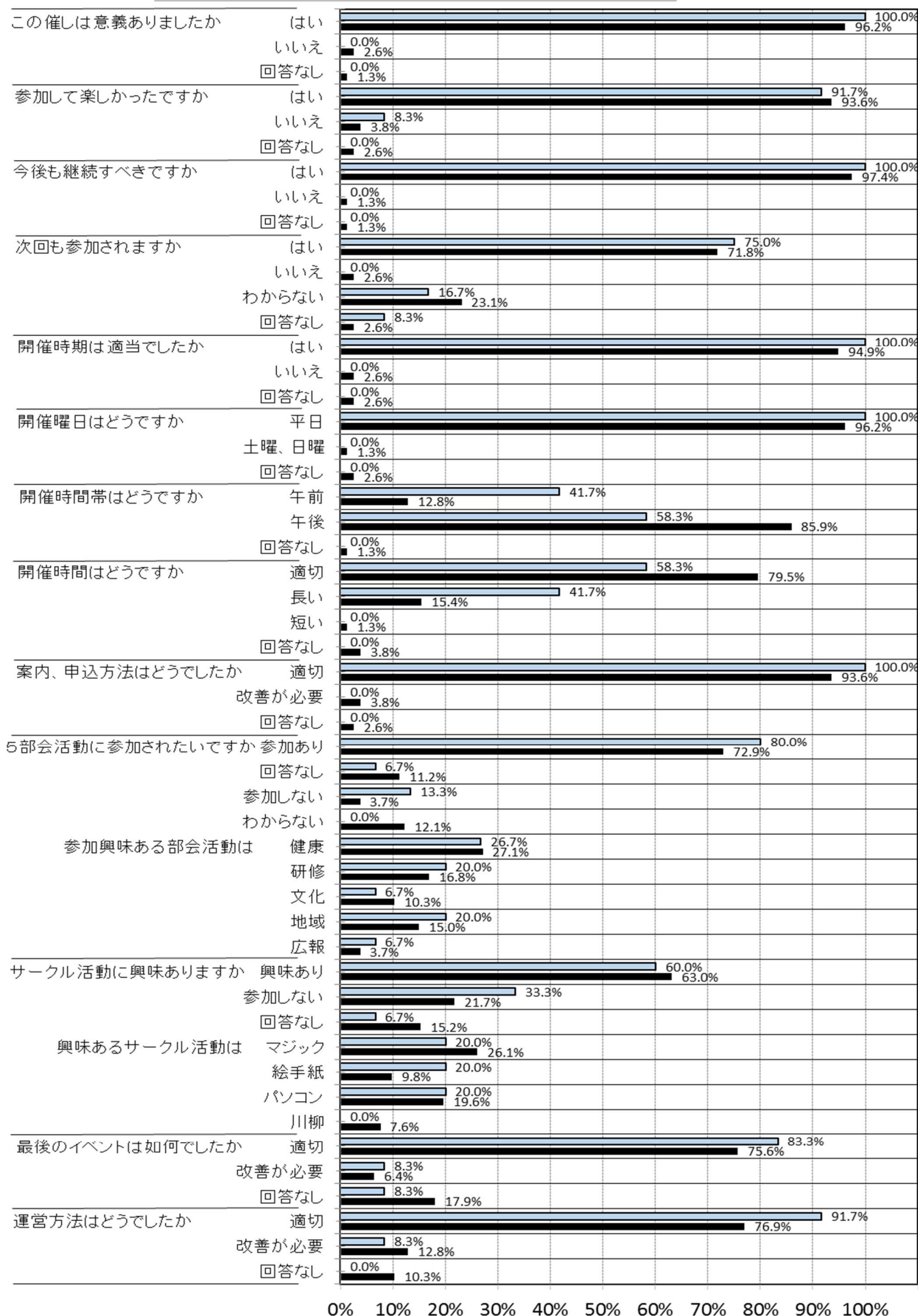
地域対抗クイズ



皆で「琵琶湖周航の歌」合唱

レイカ大津の集いアンケート結果 N=78

全体 36期



第 14 回生涯学習フェスティバル 2015 に参加

第 14 回生涯学習フェスティバルが 9 月 23 日(秋分の日) 大津市皇子が丘公園体育館で 10 時から 15 時まで、秋晴れのもと華やかに開催されました。来場者は約 2,500 名で大津支部ブースも 300 名を越える入場者で終日盛況でした。

演し物はマジックと紙芝居で、文化部会「マジックサークル」の 7 名、地域文化学科卒業生の「手作り紙芝居」6 名の方々に演じて頂きました。

出演者の方々の熱演を数多くの聴衆者に楽しんで頂きました。有り難うございました。熱演の一端をご紹介します。



「わかやま国体ボート競技」ボランティア活動

11月18日の本部主催「地域活動事例発表会」で、今回の活動推進に主導、ご尽力くださいましたサポート隊地域活動部長の菊地秀一様より発表をいただきました。活動の発端は、昨年の春に大津市社会福祉協議会より大津支部にボランティア参加の紹介がありました。地域活動部の門間部長と「わかやま国体ボート競技事務所」を訪ね、趣旨・時期・場所・活動・必要人数等を聞き、執行役員会にて検討の結果、活動のインパクト力とレイカディア大学の外部発信が期待できると判断し受けることになりました。しかしながら大会の規模・人数確保等を勘案し、サポート隊・大学事務局に協力を依頼、賛同を得て草津校同窓会・サポート隊・在校生によるレイ大グループの協働体制で対応することになりました。

具体的な依頼内容は、期間：9月24日～30日までの7日間、場所：琵琶湖漕艇場、活動内容：おもてなし・会場美化・会場整理、希望延べ人数：350人。参加者を募集したところ、190人（大津支部40人・サポート隊90人・在校生60人）の応募をいただき表彰式典準備も受け持つことにしました。その後、提示されたシフト表に基づき、応募者に日時・活動内容の調査を取りまとめ、割振りの調整をお願いしました。結果、一般ボランティア総勢250人の内180人をレイ大グループで担うことになりました。夏にレイ大大教室で研修会を開催し参加者170人が集まり、「ビブス」・「帽子」・「ボランティア登録証」の配付と「運営マニュアル」により説明を受け質疑応答では時間を超過するほど熱心な集会でした。

本番開始、初日の朝はどしゃぶりの雨、二日目からは晴天で暑さに耐えながらの活動でしたが、和歌山名物の「南高梅」と「みかんジュース」で暑さを凌ぐことができました。「おもてなし」では、弁当の受取と配付・弁当箱の回収・ドリンクサービス。「会場美化」は範囲2km弱のゴミ収集・トイレ掃除等一番疲れる作業でした。「会場整理」は、観覧者のマナーもよくトラブルなしでした。



最終日の表彰式典準備は、前半はやや暇で後半はレース結果が頻繁になり大忙しでした。活動の終了時に、参加賞として「漆塗りバッジ」「ボールペン」「南高梅」「競技会要覧」をもらいました。競技での滋賀県の成績は、天皇杯4位・皇后杯10位の成績でした。

運営面での問題点として、シャトルバスが運行されなかったことやトイレ掃除が当初の活動外であったことです。反省点として、「ネームカード」が小さくレイカディアが分かりにくかった事、同窓会・サポート隊の「幟」数本を許可を得て立てたが目立たずことが出来ず今後の課題です。全体として暑い中での活動でしたが、それぞれの仲間や垣根を越えての交遊により楽しく活動を経験されたことと思います。

この経験を9年後の2024年「びわこ国体」に活かればとの発表者のコメントで、「何人のお方が参加できることやら！」では大きな爆笑を誘いました。今後は、これをきっかけに大きな塊としての動きや米原校も含めた「オールレイ大」で活動できればとの祈念で発表を終えられました。

後日、実行委員会より参加者全員に関係者も含め15,000人を超える参加により賑やかで盛り上った競技会になったとのことのお礼状が届きました。また、同窓会・サポート隊・大学事務局にも感謝状が届きました。日本ボート協会の講評として、「ここ数年にない素晴らしい運営」であったとのことのお褒めがあったようです。

結びになりますが、多くの参加者並びに菊地様他のサポート隊関係者、大学事務局、撮影及びパワーポイントの制作でご尽力いただいた栗東支部教野様などの方々には、この紙面をお借りし厚く御礼申し上げます。

同窓会本部主催グラウンド・ゴルフ大会開催される

9月17日(木) 第16回同窓会本部主催のグラウンド・ゴルフ大会が竜王町のドラゴン・ハットで行われました。前日から雨模様でしたがコートはドームの中で雨の心配はせずに済みました。参加者154名を24組に分け、9時45分スタートで行われました。同会場は昨年に続き2回目、



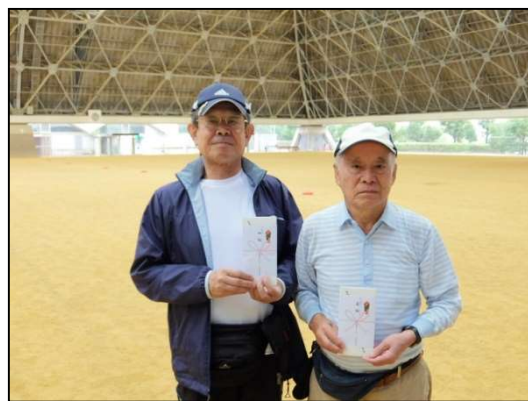
土のフラットなグラウンドで簡単そうに見えましたが、玉の転がり是非常に変化して、皆さん苦勞されていました。

競技はA・B・Cの3コースをラウンドする24ホール・ストロークプレーの個人戦で実施。表彰は男女とも1～3位。4～7位男女共通。ホールインワンは本年は全ホール対象だったので67名と多く出て、ラッキー賞はなくなってしまいました。

大津支部からは17名が参加。結果は4位(松岡克実 32期 健レク・北大路) 5位(横川晴一 21期 園芸・田上) の上位入賞2名。ホールインワン賞7名。ゲーム終了後はグラウンド内でお弁当を皆で食べてコミュニケーションを図ることが出来ました。



グラウンドでお弁当



入賞者左から4位松岡さん、5位横川さん



大津支部から参加の皆さん

第8回「地域活動事例発表会」

例年1・2月に開催されていましたが、積雪などで参加しにくいなどの意見もあり、平成27年度は時期を早めて、11月18日の開催となりました。開催場所は昨年と同じ、近江八幡「ひまわり館」で、参加者は約142名（大津支部12名）でした。今年は9支部からの発表に加え、レイカディア同窓会、草津校在校生、サポート隊が共同で取り組んだ「わかやま国体ボート競技運営ボランティア活動」について、サポート隊からの報告がありました。発表内容も年々充実し、各支部とも素晴らしいプレゼンテーションでした。

大津支部からは、「大津祭ボランティア活動&マジックサークル出前演技」と題して、全く異質の地域活動をセットにして2番目に発表しました。

大津祭ボランティア活動については、石山地域の門間正憲さんと澤島令子さんが、本部HP担当の教野弘孝さん作成の映像を使って、大津祭の内容、同窓会大津支部や在校生のボランティアの活動の様子を大津祭をサポートする長柄衆（大津まちなか大学の修了生で構成）のハッピー姿で熱く語りました。また、続いて大津支部マジックサークルの山本和男さん、荒木博美さん（共に比叡地域）によるマジックの演技が軽妙な語りとBGMで始まり、参加者から大きな拍手をいただきました。

発表会の最後に大津支部から多数の方が参加した「わかやま国体ボート競技運営ボランティア活動」についてサポート隊の菊池秀一さんが活動中着用したビブスで登場し、わかやま国体ボランティア活動の経緯、活動内容について詳しく報告されました。皆様お疲れ様でした。



当日のプログラム (9:15 開会 15:40 閉会 1テーマ質疑含め30分)

NO	発表テーマ	発表者	卒期	学科	支部
	開会挨拶	堀江勇夫	同窓会会長		
1	私の地域活動	安井武市	29	園芸	中部
2	大津祭ボランティア活動&マジックサークル出前演技	門間正憲、澤島令子 山本和男 他	32/33 25	園芸/地文 園芸	大津
3	水口細工の復興活動	橋本黄市	22	スポ	甲賀湖南
4	大津絵に魅せられて	廣田正和	30	園芸	湖北
5	旧伊庭家住宅の庭園整備	中島雄治	35	園芸	近江八幡
	昼食休憩				
6	街中美化運動「はなのみち」	楯 進	35	園芸	高島
7	私達の園芸活動	宮川文雄 赤鹿豊彦	32 33	園芸 園芸	湖東
8	地域活動部会設置による地域ボランティアの開始	櫻木 勇	31	地文	草津栗東
9	その後の人生をお返しの人生としてのボランティア活動について	石田耕一	34	園芸	守山野洲
10	わかやま国体ボート競技運営ボランティア活動	菊池秀一	35	園芸	同窓会草津校サポート隊
	閉会挨拶	加藤英昭	同窓会研修部長		

★レイカディア大学必修講座聴講のお知らせ★

毎年、レイカディア大学の必修講座を卒業生が聴講出来る機会を作っていただいておりますが、本年度は次の内容で予定されています。聴講を希望される方は申し込みをお願いします。

1. 日時 平成 28 年 2 月 5 日（金）午前 10 時～12 時
2. 実施場所 レイカディア大学 草津校（県立長寿社会福祉センター） 大教室
3. テーマ 「琵琶湖周航の歌 ～歌誕生の謎とロマン～」
4. 講師 NHK 京都文化センター講師 飯田忠義氏
5. 聴講定員 30 人（大津支部 割り当て 10 名）
6. 聴講料 無料
7. 申し込み方法 1 月 15 日までに地域、氏名、卒期、学科を明記して、
FAX、E-mail にて研修部長 勝田宛申し込みください。
申し込みが 10 名を超えた場合抽選で決定します。
FAX 543-1724 E-mail k-katsuta@zd.ztv.ne.jp
8. 連絡 聴講が決定した方へは勝田から E-mail または TEL にて連絡します。
聴講者名簿はまとめて、本部研修部長あてに連絡します。

〔新入会員投稿〕

陶芸を楽しみたい

伊藤 嘉明（36 期 陶芸・瀬田南）

瀬田川の畔で育った私は、社会人になると同時に 40 数年のサラリーマン生活を東京で過ごしました。東京オリンピック景気の名残があり、大阪万博、列島改造論で建設業界は活況を呈しました。昭和 50 年のオイルショックでは少し景気にブレーキがかかりましたがすぐにまたバブル景気に突入し、日本中が浮かれ、株価の高騰、土地価格の信じられない値上がり、我々は一時の夢を見ました。そんな夢もはかなく覚め、膨張を続けた企業もバブル崩壊と同時に倒産という憂き目に会う企業が続出しました。特に、建設業界では顕著でした。同じ経験をされた方も多いのではないのでしょうか？

日本経済の浮き沈みで、さまざまな経験を重ねた東京での生活でしたが、やはり終の棲家はふるさとの瀬田と決め、平成 23 年の年末に U ターンしてきました。

ゴルフと釣り以外に興味のなかった私は実家の兄に誘われ、生涯学習センターで年 2 回行われているレイカディア大学陶芸学科出身の皆様による陶芸教室に参加し、シニア大学の存在を知り、翌年その陶芸学科に入学できました。仲間も増え、ボランティアも体験し、2 年間の充実した学校生活を今年無事終えることができました。

卒業後早速 10 月 15 日に同窓会の新入会員歓迎会に参加させていただきました。24 日には私がレイカディア大学に入学するきっかけとなった文化部主催の陶芸教室に講師のお手伝いとして参加しました。11 月 30 日には「まちなかスッキリ士隊の資格者講習会」に参加しました。

今後は、仲間作りとして同窓会活動に参加するとともに趣味としての陶芸を楽しんでいきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

レイカディア大学の2年間

細谷 正宏 (36 期 陶芸・日吉)

人生を豊かにする一つの方法は、少なくとも3つのグループに参加することだという。

サラリーマンは職場での仕事はもちろん、職場以外でも同じ仲間と過ごすことが多い。それは一面職場の人間関係を緊密にし、仕事の能率向上にもつながり、企業全体として生産性の向上、増益に貢献することになる。いわゆる会社人間の創造である。休日も家族と過ごすというよりは、会社の仲間や仕事関連の人間と過ごすことになり、それもまた仕事の延長ということになる。

その結果、退職後は特に好きな趣味などがなければ、家に引きこもりがちとなる。また退職後にわかに趣味を見つけるというのもそう簡単ではない。したがって在職中から趣味の開発、職場以外に仲間や友人を見つけておくことが肝要となる。異業種交流のようなものも仕事の延長といえなくもないが、職場以外の人間と交流するという意味では有意義であろう。

レイカディア大学はシニアのための「学校」を提供し、「老人(=小人)閑居して不善をなす」のを予防し、趣味や新たな仲間を作る機会を提供しているところが素晴らしい。

退職後の私を心配した妻の勧めもあって、だいぶ前からレイカディア大学卒業生の陶芸仲間に入れてもらった。そのほか、近所の陶芸教室に参加したが、陶芸の基本から学ぶ必要を感じ、レイカディア大学の陶芸学科に入ろうとしていたが、在職中には時間的に無理であった。2013年の退職後、ようやく実現した。

陶芸学科での2年間は二人の陶芸家から多くのことを学んだと同時に、それまで全く会う機会もなかった23名の新しい仲間に出会うことができた。それまでにもハイキング仲間、ヨガ仲間、大学の旧友、陶芸仲間などに恵まれてきた。しかもそれぞれのグループには同じ人がいない、いわば異人種(?)仲間である。そして今回陶芸以外にも多芸多才な人物が多い陶芸学科の仲間と出会ったのである。お蔭で我が人生をさらに豊かにしてくれる仲間が増えて幸せである。今後はできる範囲でボランティア活動にも参加して、新たな仲間に出会うことを期待したい。

レイカディア大学での学びとこれから

大口 正勝 (36 期 地文・堅田)

地域文化学科の学生として、2年間の在学中に実に多くのことを学び、覚え、多くの得難い知己を得て、充実した体験をした。

1年生から2年生にかけての各選択科目は魅力的で、滋賀県への理解を深めることができた。2年間を通じ、最も充実し、主体性が発揮できてやり甲斐があったのは、半年に及ぶ課題学習であった。私が班友5名と取り組んだのは、「大津！隠された魅力～明日に生きる～」。

生き生きとした大津市の実現に向け、課題と隠された魅力を見出し、提言としての対策を講じる活動である。

大津市の「観光交流基本計画アクションプラン」の聞き取り調査を皮切りに、水陸運輸、交通、叡山の影響、国指定史跡ほかのサブテーマごとにインフラを中心に市内外を実地調査し、活性化に向けた課題を洗い出し、隠された魅力を浮き彫りにして、対策案にまとめた。

大津市には実に豊かな歴史的、文化的資産が在る。しかしそれらが活性化に向けた資源として十分に生かされ、魅力を発信しているかとなると、さみしい現実が見えてきた。市内の“名所”を訪れるとしても道路標識が十分でなく、標識にも案内板にも外国語が併記されていない。荒れたままの道路、駐車場やトイレの不足などが随所に見られ、せつかくの資源に光が当てられず、

生かされていない現実には驚いた。その筆頭が大津宮遺跡で、他にも旧国鉄東海道線の隧道跡、日本画家・山本春挙の旧邸「蘆花浅水荘」などなどが、隠された魅力となっている。そのうえ、大津に人を集める施策が見えなかった。

対策として交通網を整え、標識や案内板、道路の整備、駐車場やトイレなどの充実といった喫緊の課題を解消すること。その上で集客力を高める施策を講じる必要がある。テーマ型のツアーコースを設ける、水と宗教をテーマとした国際会議の定期開催や、コンベンションセンターの誘致、学研都市化などである。上記の内容は課題学習報告書にまとめてはあるが、何らかの方法で行政への働きかけも必要だと考えている。

さて今秋レイ大の卒業と同時に同窓会に入り、大津支部で歓迎会もして頂いた。入会して感嘆した。同窓会活動の多様性もさることながら、先輩諸兄諸姉が卒業後も何と生き生きと輝き、活動していることか！

私もレイ大で学んだことを生かし、立派な先輩に倣い、まずは自分のため、そして地域のため、いつ迄も前向きに行動し続けたいと思う。



レイカディア大学に入って

清水 雅文（36期 地文・皇子山）

レイカディア大学の存在を知ったのはフォトウォーク部の写真展でした。インターネットで詳細を調べすぐに願書を提出しました。幸い抽選にも入り無事入学する事が出来ました。入学式の緊張もそのままに、クラスごとの教室での自己紹介と役員選出。今、思い出しても笑いを禁じ得ないのは、我々凡人の、凡人ゆえの自己顕示。自己紹介での自分アピールのすごさ。気弱な人さまに誇れるものを持ち合わせていない私は、人みな偉くみえて、ただただ小さくなっていました。こりゃ偉いところにまぎれこんでしまったなと言うのが私の思いでした。逃げてしまおうかと思ったのですが、脳裏をかすめた二万五千円が私を押しとどめました。

そして一年が過ぎました。入学式には偉大な人だった友はみな普通の人でした。肩書も過去の栄光もしがらみも捨てたただの人との交わりは、私に新鮮でウキウキするような喜びをあたえてくれました。2年目に入りここからが人それぞれの持っている素の価値が発揮されてきます。人がこれまでの人生で培ってきた知識、教養、種々のスキル、トータルでの個の文化がキラキラと輝いてそのオーラを感じることが出来る友との交友はしばしの至福の時でした。人生の最終コーナーに向かって懸命に走り始めている私が得た友は、幼少期の友、学生時代の友、社会人になっての友のいずれとも違うまさに、大人の友とでも言うのかも知れない。卒業してその交わりはいよいよ円熟の境地に至ってきたように思える。

さて二年間の学校生活はどうだっただろう。他の学科には明るくないが少なくとも地域文化学科についていえば大変曖昧な学科である。学校が学生に求めるものと学生がもとめるものにはかなり異質な大きな乖離がある。陶芸や園芸学科は学ぶ対象が明確であるのに比して地域文化はいかようにも解釈されうる科目である。そも地域文化とは何ぞや。地域の文化である。となって来ていよいよ迷路に迷い込んでしまう。少なくとも36期地域文化学科生は地域（滋賀）の歴史、民俗、文学、風土とそれらに伴うフィールドワークを勉強の対象と考えて入ってきている。そして1年次はこれに沿った授業がなされて、我々一同我が意を得たりと多いに感激したものです。

そして2年次。1年の授業内容をより深く学ぶことになると思っていたのに「紙芝居の制作」と「事業企画」の授業。こりゃ少しおかしいぞ。学校側はこれぞ地域文化だ。紙芝居は地域公演

をするのでまだしも紙芝居造りに5ヶ月も費やすのはあまりにももったいない。そして「事業企画」の授業、これが最も訳が分からない。信楽の陶芸の森での粘土の面造りそしてレイ大関係の子供だけ参加のスタンプラリー。私には5ヶ月を費やして「事業企画」に参加した思いはどうしても起こりません。

今後の地域文化学科のためにも関係各位の一考をお願いしたい。

新しい出会い～レイ大での軌跡～

岸 研治 (36期 地文・志賀)

1、レイカディア大学での活動

1) 地域文化学科

① 1年生は歴史、文化、文学、自然など現地研修を通して近江を学びます。

「街道を学ぶ」～「農書を学ぶ」～「近江と文学」～「水源を訪ねて」
(滋賀県をあまりにも知らなかった。各先生との飲み会には必ず参加)

② 2年生は地域活動への企画立案・実施する方法を学びます。

「紙芝居」の作成と地域で実演。信楽の「街づくり」を企画卒業最後の行事として実施しました。
また、課題学習は地域活動の一環として「街づくり」プラン～大津！隠された魅力～を卒業報告書として作成しました。(大津も知られていない処が一杯あることを認識しました)

2) クラブ活動 (書道部)

中学卒業以来50年振りに筆を持つ。河嶋部長「今年も年賀状はPCで作りますか？小筆で書きませんか」のフレーズに引かれ入部しました。

先生はレイ大OBの内田久代先生、小林昭三先生により丁寧なご指導を頂きながら、和気あいあいの雰囲気があるクラブです。筆と墨による作品は、表装して大学祭へ出品します。レイ大に居た証しの一つとして「一生の宝物」が残りました。



2、新しい仲間との出会い

36期地域文化学科の仲間とは、卒業した後も「何やかんやの企画や飲み会」などで、毎月集まっています。年齢の巾はあっても同級生として、今後も楽しい企画を通して、長くお付き合い出来る仲間ができました。

3、ボランティア活動

1年生の講座の1つ地域活動で選んだ「子どもが遊べる川づくりPJ」に引き続き参加し、大津の小学校の課外授業をお手伝いして、小学生に遊んでもらって(?)います。レイ大の仲間もいますが、違った環境の人達との活動を楽しんでいます。

4、今後の活動

歳を重ね体力が落ちていく中、その時々に見合った事を楽しみとしたい。

最後に、最も大事なことは家庭ボランティアを欠かさないことでしょうか。

[部会だより]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

第2回グラウンド・ゴルフ大会報告

健康部 荒木 澄子 (33期 健レク・瀬田北)

10月21日(水)第2回大会が、坂本市民運動広場にて開催されました。部長の荒堀勝正さんの「健康寿命を延ばす為には暑いから、寒いからと家の中にこもらず外で活動しましょう」とのお話の後、5組に分かれ元気良くグラウンドに飛び出した。1番ホール横で4組のプレーを見守っていた時、な、な、何と、1球目からホールインワン。どないなってるの恐るべしレイ大先輩、4ラウンド後の結果発表でホールインワンは11名、1人で2回は4人もいた一方で、私ときたら合計で125もたたき25名中25番目すなわち最下位であった。こんな成績でもめげてなどいません。楽しかったまた参加したい。日頃、小学校応援活動やその他のボランティアではほぼ毎日のように出かけている間のホットした時間で、私の今一番の楽しみなのです。貴方もグラウンド・ゴルフ楽しみませんか、初心者の方、道具を持ってないお試しの方も歓迎いたします。皆様のご参加お待ちしております。

第2回ディスコン大会報告

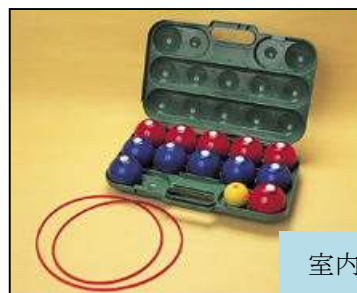
健康部 安田 照美 (33期 地文・皇子山)

11月23日(月・祝)午後1時から膳所市民センター3階大会議室で第2回ディスコン大会を開催しました。時節柄6名の方が風邪等で欠席となりましたが、36期生1名を含む、16名の参加者が3チームに分かれ、前半はディスコン、後半はペタンクで熱戦を繰り広げました。

本場フランスの「ペタンク」は鉄球を使用しますが、こちらは室内競技用に改良された少し重量のあるゴム製の赤と青のボールを使用します。コロコロと転がるボールは力加減が難しく、大量得点のチャンスも。本来は別のルールがあるようですが、

今回はディスコンのルールを適用し

ました。年齢・性別に関係なく楽しめるスポーツで、面白い！



室内ペタンク (ニチレクボール)

◎今後の活動計画 (多数のご参加をお待ちしています)

第3回グラウンド・ゴルフ大会	平成28年1月15日(金) 13:00～	びわこ文化公園
第3回ディスコン大会	平成28年2月22日(月) 10:00～12:00	瀬田公民館

平成 28 年度作品展のお知らせ

1. 期日 平成 28 年 4 月 8 日（金）午前 12 時～4 月 10 日（日）午後 3 時まで
（準備 8 日午前 9：00～12：00・撤去 10 日午後 3：00～5：00）
2. 会場 大津市生涯学習センター 1F ギャラリー
大津市本丸 6－50（膳所公園の向い側）京阪電車膳所本町駅から徒歩 5 分
3. 作品応募要項
 - ①出展数 1 人に付き、壁面掲示作品は 2 点以内・机上展示は 3 点以内とします。
又、既にレイカ作品展出展の作品はご遠慮下さい。
 - ②品 目 絵画（油・水彩・日本画・水墨等）、工芸（陶芸・手芸・木工・篆刻等）、文芸（書・短歌・俳句・川柳・絵手紙等）、園芸（盆栽等）、生花、写真、活動記録他
4. 申込み締切り 3 月 14 日（月）
＊詳細は別紙をご覧ください。

秋季市民陶芸体験講座開催

中野 清（24 期 陶芸・田上）

日 時 平成 27 年 10 月 24 日（土）9：30～14：30

場 所 生涯学習センター 美術工作室 受講者 18 名

今回は学習センターの都合で土曜日の開催となり応募が少なかった。今秋卒業の 36 期生 2 名が新しく講師に加わり、受講者 2 名に 1 名が担当させて頂き好評を頂きました。



作品の一部です、ユニークな作品&来年の干支の猿も登場。乾燥・素焼き・施釉（10 色の中からお好みを）・本焼き後、12 月 26 日お渡し致します。



「研修部」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

平成 27 年度研修部第 3 回研修

平成 27 年度大津市民病院大学 健康講座

「歩いて治そう心血管病～心血管病と心臓リハビリテーション～」

10 月 1 日台風 21 号崩れの雨の中、表題健康講座が一般市民の方と一緒に、レイカ大津から 26 名が参加し総勢 90 名ほどで開催され、講師は大津市民病院循環器内科医長 木股正樹先生で、診察の合間を縫っての講義でした。心血管病は心臓や血管などの循環器の病気で、病状に気づく頃には重症化している、いわゆる「サイレントキラー」と呼ばれています。

講義は狭心症、急性心筋梗塞などの心臓病の症状や治療方法、そして急性心筋梗塞は胸の強い締めつけ感、冷や汗などを感じたら直ちに救急車を呼んで病院へいくことの大切さを強調されました。そして、心臓病を発症したら、適切な運動療法と生活習慣の見直しが必要、特に喫煙は百害あって一利なし、頑張りすぎない程度の運動を継続することで、病気の再発や突然死を防ぎ、寿命を延ばすと話された。



平成 27 年度研修部第 4 回研修

「秋の坂本 歴史ハイキング」

レイカ大津研修部の初の試みとして「大津歴史探訪」を企画することを決め、その第 1 回として、「秋の坂本歴史ハイキング」を企画しました。

11 月 20 日（金）、23 名の参加で、石山地域の永尾正昭さんの案内で、朝 9 時



高穴穂神社

昨夜の雨も止み天気が好転する中、高穴穂神社(祭神 景行天皇)をまず参拝しました。ここは古事記が述べる、景行天皇が実在するとすれば 4 世紀前半の高穴穂宮があった場所と推定され、近江宮より 3 世紀も前に大津に都があったことになり、ロマンあふれる場所でした。

続いて、盛安寺、ここには白洲正子が絶賛したと言われる、国の重要文化財の十一面観音立像が迎えてくれました。さらに、滋賀院門跡を経由して、徳川幕府に深く関わった慈眼大師天海の廟である慈眼堂、日光東照宮の原型とされる日吉東照宮、最後に日吉大社を参拝して、解散しました。



盛安寺十一面観



道のりもさる事ながら、日吉東照宮の石段にかなりバテバテでしたが、大津のすばらしい文化財に触れたハイキングでした。(レイカディア大学同窓会 HP に詳しく紹介されています)



日吉東照宮

慈眼堂前にて

「地域活動部」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で～！

《活動報告》

1. 「わかやま国体運営ボランティア」成功裡に終了しました



9月24日～30日迄琵琶湖漕艇場」にて行われたボート競技の運営ボランティアは予定通り終了し、大会実行委員会より参加者への「お礼状」や競技事務所から「感謝状」をいただきました。詳しくは7頁の「わかやま国体ボート競技ボランティア活動」参照ください。

レイ大グループボランティア(大津支部・サポート隊・学生の協働)

◆180名、延べ307名(大会全体ボランティア250名、延べ450名)

◆支部参加 58名(支部38名、サポート隊20名) 延べ120名

昨年より準備打合せなど協力いただいた方々及び参加の皆さんご苦勞様でした。この経験を2024年の「びわこ国体」に活かしましょう。

2. 大津祭ボランティアも無事終了(10月11日本祭)

今年は天候の影響もなく予定通り行われ、山の担当は西宮蛭子山、猩々山を現役学生(37期陶芸)の応援を得て例年通り2つの山を曳きました。昨年より取り組みの曳き手以外のボランティアも少し拡大増加しました。

(1) 参加者人数 延57名

◆本祭(11日) 21名

○曳き手 14名 猩々山(南保町)7名(支部会員内女性2名)

西宮蛭子山(白玉町)7名(在校生37期陶芸 女性3名)

○本祭曳き手外 7名 案内所 4名、昼食会場 3名

◆宵宮、山建 36名

○宵宮 10日 18名(猩々山 12名、西宮蛭子山 6名)

○山建 4日 14名(〃 9名、〃 5名)

○曳き手外(宵宮)4名(案内所2名 観客整理 2名)

(2) 説明会 9月27日14時～ 5名参加



3. レイ大同窓会第8回地域活動事例発表会参加(11月18日ひまわり館9:15～15:45)

今年も県内9支部から地域活動の発表にプラス「サポート隊」の10箇所より発表しました。大津支部は「大津祭ボランティア」(門間、澤島)、「マジックサークル出前演技」(山本、荒木)。サポート隊から「わかやま国体ボランティア」の発表もありました。

詳しくは9頁の第8回「地域活動事例発表会」を参照ください。

4. スッキリ土隊の今年度講習会を開催

11月30日(月)市役所会議室で実施しました。参加者は3名、当支部の資格者は99名になります。今年は主催者を市都市計画課として他の登録団体にも呼びかけました。来年計画は秋季になりますが希望者の方は地域活動部・地域相談役スタッフに連絡ください。

5. その他の活動

小学校応援及びその他の活動は19・20頁を参照ください。

《地域社会への貢献活動(ヨシ刈)へのお誘い》 平成27年11月30日現在

本年もシーズンに入り既に2箇所で開催されています。

12月6日(日) 比叡地域の堅田・米プラザ前(会員及び在校生3名参加予定)

12月12日(土) 石山地域の蜷谷公園前(会員及び在校生12名参加予定)

12月は以上2箇所でしたが、新年には各地自治会主催で計画があります。11月末現在計画の情報を下記にお知らせします、寒い折柄ですが防寒対策をして多数の会員の参加をお願いします。《参加希望の方は各地域相談員・地域活動部に情報(集合場所、時刻など)確認下さい》

★大津市民ヨシ刈(雄琴・アクティバ琵琶本部前：8時45分集合)

大津市環境政策課主管の行事ですが最近支部からの参加者が少ないので多数参加をお願いします。

- ・日時：1月31日(日)9時～12時頃まで(休憩あり) 予備日：2月7日(日)
- ・場所：大津市雄琴6丁目17-1アクティバ琵琶前(湖岸側)
- ・参加申込期限：1月15日(金)

(車で参加の方は事前に駐車券を入手する必要があります。申し込みの際申告下さい)



平成27年の模様

★瀬田地域のヨシ刈(唐橋公園) 中止の見込み

- ・日時：例年2月催行ですが今年は計画なし

★中央地域(膳所公園周辺びわ湖畔)のヨシ刈(膳所市民センター前：9時45分集合)

- ・日時：2月28日(日)10時～12時頃まで 予備日：3月6日(日)
- ・場所：膳所公園周辺びわ湖畔

★その他で予定のもの

- ・下阪本地区：2月6日(土)会場：七本柳広場唐崎公園 時刻未定

(相談先)比叡地域	傍島 公男	TEL578-1381	中央地域	澤 辰男	TEL522-1929
石山地域	木本 修二	TEL533-1714	瀬田地域	山口 玄洞	TEL545-6156
地域活動部部長	門間 正憲	TEL546-3630	副部長	岩田 和彦	TEL594-4812

平成27年度 小学校応援 集計表 (H27. 4月～12月8日)						平成27年12月8日現在	
地 域	応 援 項 目	活 動 学 校 名	校 数	参加者(名)	回 数	摘 要	
						内在校生	内協力者
比 叡	剪定・同補助	伊香立、仰木の里	6	72	10	4	4
	(環境整備等含む)	仰木の里東、木戸、小松					
		真野北					
	図書整理	日吉台、堅田、伊香立	4	27	4		
	小 計	9 校		99	14	4	4
中 央	図書整理	平野、逢坂	2	75	17	3	
	小 計	2 校		75	17	3	
石 山	剪定・同補助	南郷、青山、石山、大石	4	76	7	1	
	(環境整備等含む)						
	家庭科(ミシン縫製)	大石	1	10	5		3
	小 計	4 校		86	12	1	3
瀬 田	剪定・同補助	瀬田北、瀬田、瀬田南	5	158	11	10	13
	(環境整備等含む)	瀬田東、瀬田幼稚園					
	花壇づくり	瀬田東	1	53	9	17	14
	図書整理	瀬田南	1	74	41		2
	家庭科(ミシン縫製)	瀬田東	1	24	19		3
	行事応援	瀬田北	1	12	2		
	小学校応援説明会			23	1	5	1
		5 校		344	83	32	33
	合 計	20 校		604	126	40	40
26年度	合 計	20 校		649	168	32	23



青山小剪定(左上)
伊香立小図書整理(真中上)
瀬田東小剪定(右上)
瀬田東小花壇づくり(左)
将棋対局(右)



平成27年度 大津支部 まちなか応援活動記録				平成27年12月8日
区分	まちなかスツキリ士隊	大津祭り	瀬田川リバブレ隊	囲碁将棋対局
4月			* 10日: 2名	* 大津老人20日1名 " 27日1名 * 茶話本舗21日1名 * 真心南志賀25日1名 * 福寿荘 4日1名 * みちくさ10日1名 * コンソルテ瀬田16日3名
5月			* 10日: 4名	* 大津老人11日1名 " 18日1名 * 真心南志賀23日1名 * 福寿荘 2日1名 * みちくさ1、15日1名計2名 * コンソルテ瀬田21日2名
6月	* 2日: 瀬田地域 6名 37枚		* 10日: 1名	* 大津老人 8日1名 " 22日1名 * 福寿荘 20日1名 * みちくさ19日1名 * コンソルテ瀬田26日4名
		* 30日 * 募集開始		
7月	* 3日: 瀬田地域 4名 27枚	* 3日: 学生応募依頼	* 10日: 1名	* 大津老人 6日1名 " 13日1名 * 福寿荘 11日1名 * みちくさ 3日1名 * コンソルテ瀬田18日4名
8月	「わかやま国体ボランティア」9月24日～30日 琵琶湖漕艇場にてボート競技の運営ボランティア参加 支部会員参加58名(支部38名、サポート隊20名) 活動延べ120日(全体450人)	* 応募者締切り 曳き手14名、曳き手外8名、山建て13名、宵宮14名	* 10日: 2名	* 大津老人10日1名 * 大津老人24日1名 * 福寿荘 1日1名 * コンソルテ瀬田20日4名
9月	9月1～10日: 国土交通省運動期間 * 1日一斉除却12名 全体91枚		* 10日: 1名	* 大津老人14日1名 " 28日1名 * 福寿荘 5日1名 * コンソルテ瀬田17日4名
		* 27日: 説明会 5名 (中央市民センター)		
10月		* 4日: 山建 14名(9+5) * 10日: 宵宮 18名(12+6) * 11日: 本祭 14名 猩々山7名、西宮蛭子山7名	* 10日: 2名	* 大津老人19日1名 " 26日1名 * 福寿荘 3日1名 * コンソルテ瀬田15日1名
11月	* 資格取得講習会 11月30日(月)10時～ 市役所会議室にて 受講者4名	曳き手外10日4名: 11日7名 祭り合計 57名 (ヨシ刈り 27年度)	* 10日: 2名	* 大津老人16日1名 " 30日1名
12月		* 6日: 堅田米ブラザ 4名 * 12日: 石山蛭谷12名予定		
1月		* 31日: 雄琴市民 * 瀬田唐橋公園 予定なし		
2月		* 6日: 下阪本 * 28日: 膳所公園		
3月		* 松明一斉点火		
備考				

[会員投稿]

「天寿」と健康

門馬 三郎（11 期 文芸・皇子山）

寿命は天寿である。天に坐す造物主がお決めになる。人間が寿命を延ばす事は出来ない。逆に一方的に短める人が出るがこれは不誠実なこと（今の社会では原因不詳の犯罪・無謀な交通事故で没する事が多発）与えられた人生は懸命に生きなければならぬ。

日本人は長寿になっている。勿論、経済的・医学的な精進も有るが！これについて健康年齢が懸念される。寿命は天から与えられるが、それに応じる身体は人間が造り上げなければならぬ。人が二足歩行になって前足は進化し、手と指が発達した。それに連れ道具を創り、益々指の動きが器用になった。そして現世の親指が下にずれて、大きく動くように進化した。

内臓も立ち位置に順応するように成った。喉は胃＝食物、肺＝空気と分別。咽、声帯は発音に適する位置に定着。此の進化には数万年かかっている。

今の時代、健康年齢の向上には人智が大いに働いている。

①食生活の老人対策。

②日常の起居。運動機能で足腰が弱る・歩行困難になる老化の低減の防止と現体力の維持・向上。

③思考力の痴呆化の予防。加齢・経験で精神的なプラス面の向上。

これらを高齢者も自ら・行政も一丸となって行っている。之でゼロ万年も掛からず健康年齢は向上するだろう！人間は健常なる高齢者になる。百歳の人は多く存在する様になるだろう！

120 歳で第 2 の還暦を向かへ、敬老される「お年寄り」になる。

『少子・高齢化 現象』

「少子高齢化」と言われて来たが、その実態が社会に現れて来た。金融機関で銀行・郵便局の窓口若い女性が座っているのを見る事が無い！結果、窓口では熟年の熟練した若おばさんが応対している！高卒女子の上級学校に進む比率が上昇し、就職する人が激少している。

（それに応じるように都市部以外に女子用の短大が急増されている！学生も結構集まるようで学校経営も順調なようだ）

それで、女子事務職を短大卒よりとせざるを得ない！彼女たちは学生に年月を使った分、就職期間がみじかくなる。初任給も高いので企業の経営にも関する。晩婚化で寿退社が遅くなったが平均的就職期間は如何だろう？日本産業は順調に推移しているので企業の永続性も願って年度ごとに若年労働者を採用すべきが少子現象で新卒を採用が困難なようだ！

「還暦」を定年と一般的にしていた。いまや、60 歳は老人の部では無く、働き盛りだ。還暦を昔のように「長年、健康で働いてきた」と言って赤いチャンチャンコで祝うことが無くなった！60 歳は高齢の入り口で 75 歳よりを「後期高齢者」に分類にし、77 歳の「喜寿」でやっと老人と呼ばれるようだ！

企業も若年労働者の代替えとして定年を 65 歳とし、その時点で心身ともに健康な人は更に 5 ～ 10 年の続も出来るとしている。社会の少子高齢化に適応した企業の人事対策が始まりつつある。

敬老の日に届いた2通の手紙

堀口 唯子（26期 生活・日吉）

毎年敬老の日には、地元学区の小学校から手紙が届きます。ワクワクしながら開封してみると、今年も校長先生と5年生の生徒さんからの、2通の心温まる手紙が入っていました。学校教育の一貫として恒例の行事とは思いますが、学校と校長先生のご配慮に頭が下がる思いで何度も読ませて貰っています。すぐに校長先生と生徒さんへのお返しのお手紙を書いてお渡ししました。

大津市立下阪本小学校 校長 M先生

今年は例年になく厳しい暑い夏でありました。

この度、敬老の日に際しましてご丁寧なお手紙を頂きまして有り難うございました。

校長先生におかれましては、日々学校現場でいろいろご苦労されておられますことと存じます。他校で起こった問題も、貴校でも取り上げ、考えていかれることもおありでしょうし、大変なことだとお察し申し上げます。

生徒さんの周りでは色々な問題が起こっている現代です。教育現場だけに問題があるのではなく、家庭や地域での希薄な人間関係にも原因があるのではないかと常々感じております。今回のお手紙をきっかけに、私のようなものでも何かお手伝い出来ることはないかと思うようになりました。（中略）

最後になりましたが、生徒さんからもお手紙を頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。きっと思いやりの心を持つ優しい生徒さんでしょう。地域の子供たちがこれからも健やかに成長できるようお祈りしています。校長先生の地域へのご配慮に感謝申し上げます。

大津市立下阪本小学校 5年 S子さんへ

はじめまして、S子さんお手紙有難う。頑張って書いてくれましたね。大変うれしく読ませて貰いました。

今年は例年になく暑い夏でした。そんな暑い時から9月26日の運動会に向けて練習をしていたのですね。ソーラン節を踊るそうですが、大勢で踊ればきっとすごい迫力でしょう。ぜひ私も見せてもらいに行きます。運動会、元気で頑張ってくださいね。（中略）

自己紹介が遅れましたが、私は76歳のおばあさんです。60歳で仕事を終え、色々なことに挑戦してきました。とくに頑張ったことは、創作手作り紙芝居です。手作りの紙芝居を持って老人ホームや幼稚園へと出かけ、作る喜びから演じる楽しみを体験するボランティアに参加しています。

幸いこれまで大きな病気もせず元気に過ごせているのは、ある先生から聞いた（か）感動（き）興味（く）工夫（け）健康（こ）好奇心という言葉、いつも大事にしているからだと思っています。ぜひS子さん覚えておくの良いかもしれません。

お手紙に書いてもらっているとおり、いつまでも元気で過ごしていきたいです。S子さんも中学校、高校と、大きな夢を持って元気に明るく過ごして下さい。お手紙、本当にありがとう。

戦後（人生）70年夢現（うつ）の巻

小野 英明（31期 スポレク・皇子山）

安倍総理が戦後70年談話を発表した。そして私もいよいよ70年を生きることになる。明治維新から大東亜戦争終結までの77年に匹敵する歳月である。まさか先の大戦中に江戸終結70年談話を考えた人はおるまい。子供時代に会話した近所の平太という名の老人は江戸慶応の生まれであった。江戸時代生まれの人と対話経験のある日本人もやがて希少価値になりそうである。

戦後70年は天地開闢以来の大激動の時代であったと思う。子供心に終戦直後数年の日本の極貧の記憶が微かに脳裏に残っている。最も印象に残る変化は、高度成長初期の、各家庭にTVが普及し始めたころの政治経済社会文化全領域の大激変である。そして就職し、働き盛りの最中にバブルが崩壊した。それまでは経済は右肩上がりに成長するものだと思い込んでいた。定年直後にリーマンショックに遭遇する。バブル崩壊と同様日本社会が慌てふためいた。国家公務員の私には直接の影響はなかったが記憶に残る事案であった。

そんな70年を常にとともに歩んできたのが大相撲と流行歌である。千代の山・吉葉山時代は臍の世界であり、栃錦・若乃花から実際の記憶にある。大鵬・柏戸、北の富士・玉乃海、北の湖・輪島、千代の富士、若・貴兄弟、朝青龍、史上最強横綱白鵬と変遷を見続けてきた。毎場所必ずドラマが待っており、手に汗を握る。場所中は栃木県在住の友人と連日高額な電話代を支払って相撲談義をする羽目になる。

そして流行歌である。父母の話によると、物心つく前から出放題の歌をうなっていたそうである。祖父は私を子守しながら終日浄瑠璃をうなっていた。中学校の理科の授業中に先生が「歌を歌っている野郎がいる」というので誰かと思ったら自分のことであり赤面したことがあった。中学高校大学と自転車通学であったが、もちろん歌いながら走る。高校時代に下宿したことがあったが、帰宅後窓に腰かけて演歌をうなる。当時は2回聴くと曲を覚え、3回聴くと歌詞を覚えた。若いときは記憶力抜群である。三橋美智也・春日八郎、美空ひばり・島倉千代子、橋・舟木・西郷時代を皮切りに、人生の哀愁を演歌が代弁してくれた。その時々には最良の歌手が存在し、目下うっとりしている歌手は「森山愛子」である。演歌歌手になるためにだけ生まれてきたような才能を持っている。

（妻：長髪のおじいさんに「追っかけ」をされても愛子ちゃんは迷惑するだけです。吾輩：追っかけではない、愛しているのだ。愛子命!!文句アッカ。妻：でも移り変わりが激しいのはなぜなのかしら!!ついこの前はケー・ウンスク命って言ってたわよ。吾輩：「沈思黙考」）

戦後七十年

山元 すなを（19 期 生活・瀬田）

青春時代は戦争で辛い思いを致しました。満州事変に続き昭和 12 年支那事変勃発号外が入り戦争の情報を知りました。遂には赤紙一枚の出征兵士の召集令状届き、物資の統制食料難ありとあらゆる苦難がやってきたのです。

12 年には灯火管制軍需工業に動員法国家総動員、国は戦争一色に塗り潰され、14 年には戦時体制のファッション、男は国民服、女はモンペ姿になり物資の統制令が出され国民徴用令が下り、第二次世界大戦が始まり生活必需品が切符制になり、15 年には青少年義勇軍隣組制度が実施され、食料管理法により米の供出配給米となり物資が貧窮、米一日大人二合五勺、米マッチ酒木炭砂糖飼料肥料も切符制となる。

八紘一宇 昭和 16 年 12 月 8 日には、大東亜戦争となり日に日に戦争は激しくなり十七、八の青年は特攻隊に志願し、十九や二十の若者は繰り上げ入隊でそれはそれはあわただしい時代、其の時代に生を受けた私達は悲しい別れをしたのです。戦時体制となり千人針や慰問袋と銃後の護りも固く、出征兵士を在郷軍人婦人会各種団体やそして親戚が盛大に見送るのです。送る者見送られる方々、その後を頼むの挨拶に聞きいる者は泣きました。

12 月 8 日は対米英に宣戦布告されたのです。東条内閣となり日本はマニラ、シンガポール占領まではよかったのですが、米軍は日本本土に B29 で爆撃、東京名古屋大阪の大都市爆弾投下都市では疎開が始まる。赤紙は召集令状、白紙は徴用。範囲拡大無差別的に産業戦士として動員。17 年から衣料切符なければ入手出来なかったのです。大人一人年間農村で八十点。18 年には徴兵年齢が引下げられ二十才が十九才となり、2 月 9 日お寺の釣鐘や各家の火鉢や金属など悉く供出、私達は鉄屑拾いに歩いたり出征家族の秋の稲刈り等手伝いし、男女青年団員が劇や踊り歌などし、遺家族慰安会など行い活動したものです。19 年には山元の一員となり戦は益々激しくなり B29 が来襲し、バケツリレーや竹槍の訓練があり毎夜行きました。今思うとばかげた事をしていたのです。

19 年 7 月 24 日午前 7 時 47 分東洋レーヨン滋賀工場に焼夷弾が落とされ米俵に火の付いた様な火の玉爆弾が落ちるのを私は見ました。死者八人負傷者百人以上怖かった。後先になりましたが一億総軍神風特別攻撃隊出陣十七才以上兵役編入、この頃幾度となく草津警察署から召集令状を役場へ持ってくるのです。町は毎日毎日出征される見送りの万歳万歳の声軍歌と旗の波のあわただしい時代となったのです。日が経つにつれ戦死が出来連隊長よりの電報一枚が戦死の公報でした。

20 年 5 月 4 日 8 時半頃より米機来襲瀬田役場が狙われました。あの音ヒュンヒュンと低空で機関銃射撃を受けあの陰しい音、鉄筋コンクリート建物でピシピシという音を聞きながら仕事をしていました。三軒隣の中谷宅に銃弾がつかぬきヒュンピシとひどい音が今でも忘れられません。被害も少なく助かりました。

昭和 20 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分広島に第一号原爆ウラン 235 投下、9 日長崎午前 11 時 2 分プルトニウム投下され、沖縄戦は日本最後の激戦となったのです。昭和 20 年 7 月 26 日日本に対し無条件降伏を英米華三国が勧告したのに、其の時降伏しておれば広島も長崎も原爆を受けずにすんだのに、沖縄もあのような酷い目にあわずにすんだのに気の毒なことでした。

8 月 15 日にやっと終戦。戦地では食料武器弾丸が途絶え断ち切られて戦えなかったとのこと、兵隊さんの心境を思うと如何ほど悔しく残念やったでしょう。

国の為とはいえ余りにも酷過ぎる。餓え死にとは辛かったであろう。みんな生きて帰ってほしかった。生還された方々の話を聞いて泣く者は戦争の辛酸を受けて育った遺児と遺家族で私の姪も白木の箱を抱いて帰っただけ覚えていると言ひ、弟は父知らずに育ったのです。我家も兄弟二人を白木の箱で迎えたのです。

戦争戦死、昭和の激動はいつになっても涙と共に残ります。多くの尊い犠牲のあった事は決して忘れてはなりません。

昔の日記を広げ今この事を考え偲んでいる最中なんです。人権を考える大津市民の集いに参加しようと仰せつかり、内容は、これからの地域づくりの一助とする為、戦争中の生活や人権侵害について地域から学ぶ、知りあい、学びあい共に生きる瀬田をめざしているのです。

今回投稿の字数 1,200 文字以内厳守と有りますのに纏めきれず、沢山出すぎました。又いつか戦争にまつわる話の時期が来ましたら、後輩の戦争を知らない方々に、二度としてはならない戦争の悲惨さを、そして自分の子孫を残す事も出来ずに尊い命を犠牲になされた兵士の散って逝かれた無念の涙を無駄にせぬよう二度と戦争をしてはならぬと伝えてほしいのです。

高齢者で遠慮すべきですが、ましてや気にしている会費も免除され、出版して頂き申し訳なく思っております。

御存じの事と思いますが昭和 16 年 12 月 8 日の戦争を、日本は大東亜戦争と言う、アメリカは太平洋戦争と言ったのです。この事も書きたかったのですがこれだけは言っておきたかった。ごめんね。



わが町の歴史（中央・大津駅前再開発）

私の住み家（付近）の歴史

小田 悟男（19 期 文芸・打出）

今年の大津祭は 10 月 11 日（日）でしたが、以前は曜日には関係なく 10 月 10 日と決まっていた。曳山は昭和 12 年を最後に中断状態が続いていました。昭和 23 年の第 1 回大津市文化祭の一環として、11 年ぶりに復活しました。

以前は京町二丁目（下百石町）に住んでいましたので、祭当日の朝は自宅前に曳山が整列し、順番に四宮神社に巡行していました。

大津市は昭和 30 年代から始まった高度経済成長による社会の急激な変化に加えて、昭和 20 年代後半から始まった琵琶湖湖岸の埋め立てという一大事業によって、道路の整備、瀬田・堅田両町の合併等街の拡大などが進み、刻々と変化を遂げていました。

山田豊三郎前大津市長が建設部長の時に「大津駅前土地区画整理事業基本計画」が説明され、「JR 大津駅前から湖岸に出る唯一の寺町通りは、道路の幅が 9～10m 程度で狭く、大津駅前の地区約 85,000 平方メートルを近代的で健全な市街地に改造する」と言うものでした。当時の市長は西田善一郎さんでした。

私の旧住宅地は現在は道路になっています。現在道路の中央に銀杏の老木が 2 本残っています



が、私の子供の頃は「華階寺」のお寺の敷地内にあり、秋には「銀杏の実」を皆で拾い集めたものでした。

新しく居住地になったのは、旧滋賀大学附属小学校と中学校の移転跡地でした。この事業を記念して「大津駅前児童公園」が出来、私の家はその公園の前です。公園の東側の大きな楠の根元に学校の移転跡地の石標が建てられています。近くに住んでいた多くの人は、一緒に移動しましたが、個々の事情で大津市の斡旋で、遠方に移動された人もいました。私の隣の「大専寺」は、広い土地を求めて近江神宮の方へ移転されました。私は昭和44年頃から移設工事をしましたが、丁度「大阪万博」の最中で、何回か子供を連れて行った事を思い出します。昭和46年に移設工事が終わりましたが、その2年後に「第1次石油ショック」があり物価が著しく高騰し、短期間の物価の変動は大きいものでした。幸いに移転工事が終了後でしたので、影響を受けずに済みました。当初の予定より大幅に時間がかかりましたが、この計画により、東西方向の道路も利便性が向上しました。

旧大津市街は琵琶湖側より、浜通り、中町通り、京町通り（旧東海道）とありますが、いずれも一方通行の道路です。県庁前から日本赤十字病院までの道路が、現在の唯一の双方向自動車通行道路となっています。



滋賀県女子師範学校
滋賀県立大津高等女学校
滋賀県女子師範附属小学校
滋賀大学学芸学部附属学校園



華階寺の山門及び2本の老杏の木



会員文芸

俳句



瀬田川洗堰吟行（二九期文芸）

瀬田 大坪 石山

洗堰湖国を鎮め冬に入る

比叡 岡田 一也

堰越えて生まれ変わるや冬の川

石山 久保 貞邦

色を消し墨絵となりし冬の堰

瀬田 勝田 幸川

堰口や静かに秋が漂ひぬ

川柳

（お題）雨・思う・秋・恋

（講師 村上幸一）

雲水の素足の白さ雨の白さ

目が覚めて何を思うか考える

（二三期・園芸 増田 泰男）

闘病のくり返しつついつしか秋

秋蛙が曲がらなければならぬ川

（二一期・生活 梅景宏）

灼熱に撃たれた街に黒い雨

利口より愚直に生きたい思いです

（一般市民 濱口 幾子）

すっぴんで生きてきました秋深し

もみじ葉の七変化する恋心

（一般市民 芝原 操）

秋晴れに枯木の足の泣き笑い

初恋は想い出させる孫娘

（一般市民 武吉 恭子）

鰯雲やさしい流れありがとう

儚げに揺れる秋桜恋模様

[会員動向]

会員数

大津支部会員数 (12月15日現在) 259名 (うち36期新入会員25名含む)

訃報

日吉地区の木村 武司様が9月2日に逝去されました。

昭和16年3月29日生まれで満74歳でした。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

大津支部事務局からのお知らせ

1月の執行役員会及び役員会の開催はありません

2月 5日(金) 9時30分～12時 執行役員会 生涯学習センター

2月26日(金) 9時30分～12時 役員会 生涯学習センター

3月 4日(金) 9時30分～12時 執行役員会 生涯学習センター

3月30日(水) 9時30分～12時 役員会 生涯学習センター

広報部からのお知らせ

機関誌「かけはし」は年4回発行しており、次回は平成28年3月下旬の発行の予定です。

原稿締め切りは2月25日厳守で投稿の要領は従来の通りです。次号には会員投稿は掲載しません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の字数は1,200文字以内を厳守下さい。

表題の下部に、氏名(期生、学科・地区名)をご記入下さい。また、写真などがあれば是非、添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

会員投稿は6月発行と12月発行の年2回の掲載としています。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで

〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目15番15号

大塚 庸行 宛 TEL・FAX 077-525-7338

PCメールは 佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp

西澤 勝 宛 benten-nishi@ares.eonet.ne.jp

[編集後記]

本年も国内外で色々なことがありましたが、大津支部の活動の中では同窓会・サポート隊草津校在校生の3者が一体となって活動した和歌山国体ボート競技での運営ボランティアがありました。大きな評価を得ることが出来ました。そんな中わが家にもマイナンバーが届きました。新しい社会システムの導入です。当分は税と社会保障のためですが、しっかりと運用してもらいたいものです。2016年はどんな年になるのでしょうか。明るい年になって欲しいものです。そのためには会員各位が来る年も元気で活躍出来ることが重要です。

編集委員

西澤 勝 (唐崎) 渡邊 愛子 (日吉) 大塚 庸行 (打出) 住若 富子 (打出)

松岡 克実 (北大路) 安藤 気沙代 (田上) 脇田 進 (石山南郷) 河島 文雄 (石山南郷)

佐瀬 章男 (瀬田北) 安藤 孝子 (瀬田一里山) 中村 健一郎 (瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報51号(平成27年12月22日発行)

発行責任者 大津支部長 佐瀬 章男

編集責任者 広報部会長 大塚 庸行